和歌山県言語聴覚士会

News Letter 第 42 号

VOL. 42　　2022 年 3 月

挨拶	1	新入・退会・異動等会員情報	5
各局活動報告	2	議事録要約	6
シンポジストとして参加して	3	年会費納入のお知らせ	8
ST の仕事って楽しい!?	4	和歌山県言語聴覚士会学術集会案内	9
本紹介	4	編集後記	10

挨　　拶

副会長　　紀南病院　　古久保　良

新型コロナウイルスの感染拡大から 3 年が経ちました。収束の見通しがなく、特にオミクロン株の拡大で第 6 波が来ており、和歌山県でも猛威を振るっています。この記事が出る頃には収束しているかもしれませんが、第 7 波の可能性もありますので、感染対策を怠ることなく気が張り詰めている状況と思います。

さて、今年は理事選挙があります。理事活動といえば普段の仕事に加え余計な時間を取られてしまい、プライベートの時間がなくなってしまう。できることならやりたくないなあと思うことが多いかもしれません。私自身も進んで理事活動をしているわけではなく、最初は勉強会や懇親会の準備を行ったりしていました。仕事の延長の感覚で理事活動を捉えていたように思います。しかし今は人間としての成長の一つとして捉えるようになってきました。理事活動は 1 人の人間として成長するための通過点として考えています。

このような考えに至るまでには 15 年ほどかかりました。孔子の論語にもありますように、人間の成長には長い年月が必要なようです。人間として成熟できれば広い視野が持てるようになり、厳しい状況も楽しめるようになるかもしれません。どんな状況でも楽しめる余裕を持ちたいと思っています。またこれからは多様性がより求められていく時代になると思いますので、自分だけの考えに捉われず、様々な経験を通して得られたことを言語聴覚療法に還元できればと思っています。会員の皆様には今後とも和歌山県言語聴覚士会の活動にご理解とご協力をお願い致します。

各局活動報告

社会局　　公立那賀病院　　静　智弘

＜ふれあい人権フェスタ 2021＞

令和 3 年 11 月 20 日、和歌山ビッグホエールにてふれあい人権フェスタ 2021 が開催され、失語症友の会 紀の国会と共同でブース出展をしました（紀の国会会員さんの作品展示、パンフレットの配布、相談、失語症の紹介 DVD など)。十分な感染対策をとった上で 2 年ぶりの開催となりました。例年より出展ブース、来場者ともに少なかったですが、それでもフェスタ全体来場者は 3 千人と盛況のうちに終わりました。

＜第 26 回和歌山県病院協会学術大会＞

令和 3 年 11 月 23 日、ホテルアバローム紀の国にて和歌山県病院協会学術大会が開催されました。シンポジウム「コロナ禍での感染症対策」では、当会代表として和歌山県立医科大学付属病院紀北分院の大高先生に「COVID-19 とリハビリテーション 言語聴覚士の立場から」というテーマでご発表していただきました。

今回は ST の演題発表は無く、少し寂しい大会でした。第 27 回大会は令和 4 年 11 月 6 日（日）に開催される予定です。会員の先生方の積極的なご発表をお待ちしております。

シンポジストとして参加して

保険局　和歌山県立医科大学付属病院　紀北分院　大高明夫

第 26 回和歌山県病院協会学術大会にシンポジストとして発表させて頂きました。主に COVID-19 に対する言語聴覚療法（以下 ST 訓練）についてお話しました。

【リスク管理について】

COVID-19 は飛沫や接触感染が主とされています。エアロゾル感染について明確な定義はありませんが、ウイルスを吸着した大量のエアロゾルが空間を浮遊している環境ではエアロゾル発生による感染リスクが指摘されています。ST 訓練には高次脳機能訓練、失語症訓練、構音発声訓練、嚥下訓練で飛沫感染及びエアロゾル発生のリスクがあります。また患者の身体に接触して実施する手技もあり、これらの ST 訓練について感染リスクを基準に発表致しました。

【2020 年の当院での取組みについて】

2020 年に日本言語聴覚士協会、日本摂食嚥下リハビリテーション医学会、日本嚥下医学会が治療指針を発表しました。それぞれの治療指針に従い、当院では医師、感染対策部、セラピストで ST 訓練を実施する上での感染リスクを協議し業務内容を決定しました。2020 年 6 月より COVID-19 患者に対して ST 訓練を実施する事となり、現在まで ST 訓練を行っています。

シンポジウムでは医師、看護師、放射線技師、作業療法士、言語聴覚士の 5 名で討議を行いました。印象に残ったのは「COVID-19 は認知機能に影響を及ぼす可能性がある」という報告で、コロナウイルスがヘルペスウイルスのように脳実質に影響を及ぼすのではなく、隔離される事による二次性障害として認知機能低下を引き起こしているだろうという事です。特に高齢患者は隔離される事でせん妄をきたす可能性が高いです。感染対策を行い、運動療法、認知機能賦活訓練を実施する事の重要性を実感しました。

また当院ではワクチン接種前よりリハビリを実施しており、現在（2022 年 1 月）もセラピストに陽性者は出ていません。リハビリを実施した患者さんのアンケートでは好意的な意見を頂いています。今後も感染対策に留意し、リハビリテーションを実施していきたいと考えております。

STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

白浜はまゆう病院　　小田　恵

前回原稿を依頼されたのが就職してまだ2年目で、今回9年目となり2回目の原稿となります。前回は患者様が良くなっていくことに素直にSTの仕事は楽しいと感じることが多く、そのように投稿しました。過去を思い出してみると、現在とは楽しいと感じる事が変わっていたことを認識しました。当時は自身のことばかり書いていましたが、今は一つのゴールに対して、チーム全体で向かっていくことに楽しさを見出しています。今後また楽しさが変わっていくことも楽しみになってきております。

本　紹　介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった！」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています♪

貴志川リハビリテーション病院　　増田　早紀

題　名：にほんごがこんなふうにみえたのよ！～39歳で脳出血！オレの片マヒ＆失語な日常～
著　者：山崎　明夫
出版社：株式会社QOLサービス

この本は、脳出血で失語症になった著者さんが発症してから7年間のリハビリの記録です。私が特に印象に残っているのは、著者さんが発症以来初めて「文字」が読めた話です。「お」という文字が、また“o”という音がどのような音か思い出した、と語られています。音が感じられないとただの意味のない記号に見えるという言葉が強く印象に残りました。「言語は記号」というのを言語学の授業で学んだことを思い出し、学校の授業と失語症の症状とが結びつきました。言語面の他にも失語症以外の高次脳機能障害の症状の体験や、身体面、人間関係など生活に面した話も多く語られています。文章とともに作者さん手書きの4コマ漫画もあり、より情景が想像され心に響く作品でした。興味がある方はぜひ読んでください。

※次回は、済生会有田病院の竹内萌先生にお願いしています。

新入・異動・退会等会員情報

（令和４年２月現在）

＜新入＞

なし

＜異動＞

159　輪野　裕理（自宅→すずきこどもクリニック　訪問リハビリ紀の風）

＜退会＞

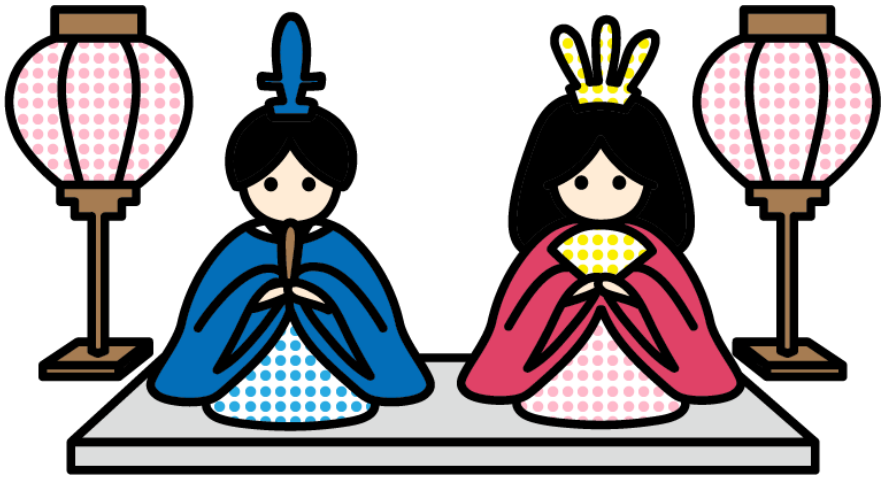
276　西田　将斗（南紀医療福祉センター）

現在の会員数

正 会 員：　167 名　　学生会員：　0 名　　賛助会員：　2 名 1 団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。
郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局：琴の浦リハビリテーションセンター　言語療法室内
TEL：073－481－4522
FAX：073－444－9792
Mail:wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp



議　事　録　要　約

令和３年度第４回理事会

日時　令和４年１月 25 日（火）19:00～21:15

参加者　山崎　古久保　天野　岩本　静　青木　土井　中武　尾藤　中瀬

〇山崎会長

１月４日読売新聞和歌山版へ POS 新春挨拶掲載

次期役員選挙について、令和４年３月 10 日告示

〇天野副会長

11 月６日　日本言語聴覚士協会秋期都道府県士会会長会議出席（Zoom 会議）

12 月 14 日　日本言語聴覚士協会代議員選挙当選

〇古久保副会長

令和３年 11 月 24 日和歌山 JRAT 会議出席（Zoom 会議）

〇事務局　岩本理事

2022 年度定時社員総会について

①2022 年度定時社員総会の開催方法について、役員のみで Zoom 開催で行う

②次年度の総会時に提出する議案書について印刷、郵送までを外部業者に委託

〇社会局　静理事

1）ふれあい人権フェスタ 2021 開催

日時：令和３年 11 月 20 日（土）10：00～16：00

場所：和歌山ビッグホエールふれあい人権フェスタ（全体参加者：３千人）

内容：各相談、パンフレット配布、失語症支援の紹介 DVD を流した。

2）病院協会

①第 26 回和歌山県病院協会学術大会開催

日時：令和３年 11 月 23 日（火・祝）9：00～16：00

場所：ホテルアバローム紀の国　第５会場：Ⅲ群（４題）座長：尾藤理事

シンポジスト：大高会員（和医大紀北分院）　写真を HP に掲載

②令和３年度病院協会新春研修会出席

日時：令和４年１月８日（土）15：30～17：20

場所：ホテルアバローム紀の国

演題：「地域共生社会に貢献する医療・福祉～地域医療の最前線に立つ医療機関への期待～」

〇学術局　青木理事

1) 学術局会議について、11 月 17 日、12 月 15 日、学術局会議を行った。

2) 第 0.5 回和歌山県言語聴覚士協会学術集会について

・開催日予定日：3 月 20 日（日）

・開催方法：Zoom（本部：那賀病院予定）

・テーマ：学術集会だよ！オンラインで全員集合！

・開催時間：9：30～16：30

・当日内容：①若手演題枠②小児演題枠③成人演題枠

④小児分野特別講演（紀南食事塾　宮田直美先生）

⑤成人分野特別講演（公立那賀病院　静理事）

〇広報局　土井理事

12 月にニュースレター第 41 号を発行。Instagram と Facebook を更新。

〇財務局　中武理事

会費未納会員に 11 月末に督促状を送付。

〇地域支援局　尾藤理事

1.令和 2 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習

令和 3 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

日　程：11 月 20 日(土)、12 月 18 日(土)

時　間：14:00～16:00

場　所：和歌山市ふれ愛センター

参加者：受講者 7～10 名、会員 4 名～5 名

※1 月 15 日(土)の支援者養成研修は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

2.令和 3 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修の契約変更について

新型コロナウイルス感染症拡大影響のため、研修が当初スケジュール通りの実施が困難。

県担当者様と協議し契約の一部中止、再契約を締結。

3.和歌山県障害福祉課担当者様と協議

日　時：12 月 17 日(月) 14:00～15:00

場　所：橋本保健所

内　容：和歌山県失語症者向け意思疎通支援者派遣事業について

参加者：大内様、尾藤

上記支援者派遣事業契約の受諾を承認

年会費納入のお知らせ

財務局　　愛徳医療福祉センター　　中武　夕真

いつも当会へ格別のご理解いただきありがとうございます。2022 年度の会費納入についてご案内致します。

自動払い込みをお申し込みいただいております方につきましては【5 月 31 日】に引き落とし予定となっております。お申し込み済みの方は【年会費 7000 円と振り込み手数料 55 円】を 5 月 20 日頃までにゆうちょ銀行口座へご用意いただきますよう、よろしくお願い致します。

なお自動払込の中止希望や何かご不明な点、誤りなどがございましたら
財務局　中武（wakayama_st_zaimu@yahoo.co.jp）までお問い合わせください。

また名義変更をされた方は、速やかに事務局（wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp）までご連絡をお願い致します。自動払い込みをお申し込みでない方は、下記口座までお振り込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。振込の際は【必ず会員番号】をご記入ください。

また 2021 年度の会費納入がまだお済みでない方は、4 月 28 日までに速やかに納入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。4 月 28 日までに、前年度分と今年度分を合わせて 14000 円の納入が無い場合、強制退会となりますので、ご注意ください。
※【休会中】の方に関しては納入の必要はありません。

1.年会費

正会員	7000 円
学生会員	2000 円
賛助会員	個人 1 口　5000 円
	法人 1 口 20000 円

2.振込先

【ゆうちょ銀行もしくは郵便局で手続きする場合はこちら】
ゆうちょ銀行
郵便振替：00990-3-114417
加入者名：一般社団法人和歌山県言語聴覚士会
【別の銀行等の金融機関から、ゆうちょ口座へ振込する場合はこちら】
銀行名　：ゆうちょ銀行
種類　　：当座 ※口座種類は「当座預金」です
店名　　：〇九九 店（ゼロキユウキユウ店）
口座番号：０１１４４１７
口座名義：シャ）ワカヤマケンゲンゴチョウカクシカイ

3.納入期間

2022 年 4 月 1 日から 5 月 10 日

第 0.5 回和歌山県言語聴覚士会学術集会

学術集会だヨ！

オンラインで♪

全員集合

日時：2022 年 3 月 20 日（日） 9:30～16:30

場所：Web 開催（zoom cloud meetings）

会費：和歌山県言語聴覚士会会員：無料

会員外：2000 円　　学生：無料

<Line up>
♪若手演題発表（2 題）
♪小児演題発表（3 題）
♪成人演題発表（4 題）
♪小児特別講演（紀南食事塾　宮田直美先生）
♪成人特別講演（公立那賀病院　静智弘先生）

お問い合わせ・お申込み

お申込みは当会ホームページから！　　URL：http://www.wakayama-st.com/

和歌山県言語聴覚士会の皆様

平素より県士会活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

今回、和歌山県言語聴覚士会主催で初めての学術集会を開催いたします。プログラムとして、若手演題、小児分野演題、成人分野演題の、合計 9 演題に加え、特別講演として小児分野は紀南食事塾の宮田直美先生、成人分野は公立那賀病院の静智弘先生から、日々の臨床経験をもとに、講演をしていただきます。年度末の皆様がお忙しい時期の開催となりますが、オンライン開催ですので、是非お気軽にご参加ください。この大変なコロナ渦を乗り越えて、皆様で臨床力を高め合いましょう。是非たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

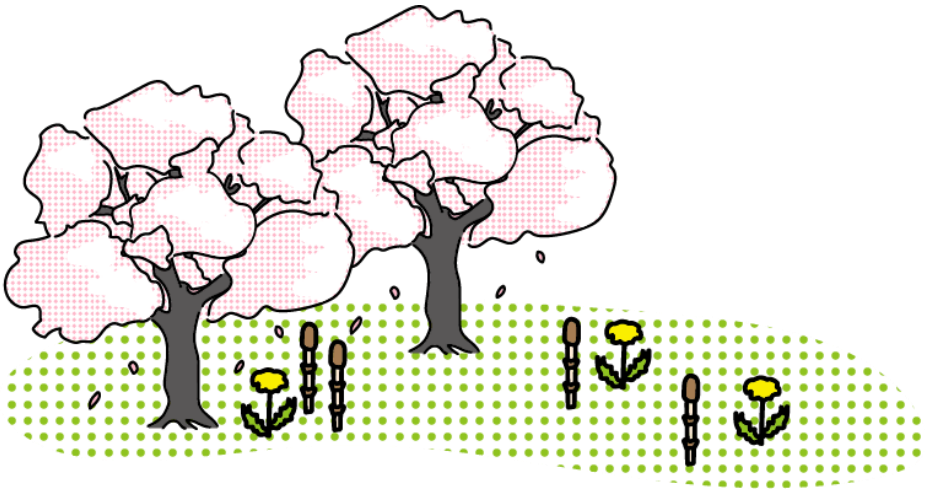
和歌山県言語聴覚士会　学術局　局長
中谷病院　青木健太

［編集後記］

今回も寄稿くださいました会員の皆様、お忙しい所ご協力頂きありがとうございました。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。本誌をもって今年度の広報紙は最終発行となります。発行にあたり、皆様から多くのご協力をいただきましたことに御礼申し上げます。

まだまだ感染対策に気を抜けない状況が続いていますが、花の息吹とともに会員の皆様にも明るい日々が訪れますよう、心からお祈りいたします。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

（白浜はまゆう病院　広報局員一同）



発　行：和歌山県言語聴覚士会
会長　　山崎　良一

事務局：社会福祉法人
琴の浦リハビリテーションセンター
〒640－0014　和歌山市毛見 1451
TEL：073-444-3141

編　集：広報局
(公財) 白浜医療福祉財団　白浜はまゆう病院
〒649－2211　和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地
TEL：0739-43-6200
FAX：0739-43-7891